



# う え だ

平成 20 年 (2008 年) 12 月 20 日

=発行=

上田高等学校関東同窓会

発行人 会長 白井 透

事務局 副会長 笠井徳爾

## 上田高等学校関東同窓会・簡易版会報

### 原点回帰のとき

会長 白井 透 (60 期)

スポーツで不調になったら「原点に帰れ」と言われますが、経営・研究など全ての分野でも同様。原点とは初心、未熟だけれども自他と向き合い、基本がしっかりと抑えられた心身の姿勢です。混迷著しい未曾有の世界恐慌を正せるのも原点に帰る以外になく、今はまさに各分野で「原点回帰」が要されているとき。

幸い私達は、故郷や母校という原点を共にした素晴らしい仲間恵まれています。ですから、私たちは、共通の原点に回帰しての同窓生とのいっそうの交歓から、こころ豊かになれる力を得ることができます。

そんなわけで、今回、同窓会では「原点回帰」を目指し、また、みなさまのそれをも願って、簡易版ながら「原点」に因んだ記事に富む会報をお届けすることにしました。

ご案内の新年会における講演も上田の原点につながる興味深いものを用意、多数みなさまのご参加をお待ちしております。

かような趣旨をご理解いただき、活動への積極的なご参加はもとより、会費納入、寄付(基金とも)、広告掲載に格別のご高配を賜りたくお願いいたします。

また、縦横の情報交換を図るうえから、同期会・クラブOB会・班OB会活動状況などについて、新年会出欠返信用はがきにご記入いただきたくお願いいたします。

### ▼ 新年会のご案内 ▼

日時 : 平成 21 年 1 月 22 日 (木) 午後 6 時半より

場所 : 日本教育会館 9 階 光琳の間

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2831

第 1 部 : 講演 : 堀内 泰 氏

演題 : 明治 2 年「上田藩の世直し騒動」について

第 2 部 : 新年懇親会

会費 : 4,000 円

講師紹介 堀内 泰 (ほりうち やすし) 氏 (60 期)

信州大学教育学部卒

長野県下の小中学校に勤務(元信州大学附属松本中学校副校長・小県東部中学校校長)、

前上田市上野が丘公民館館長、東信史学会編集委員長

主要著書・論文

『信州上田軍記』 ほおずき書籍 『信州上田騒動右物語』 ほおずき書籍

『丸子町誌』 『真田町誌』 『上田史誌』 分担執筆

『奮迅真田幸村』 歴史群像シリーズ 学習研究社 分担執筆

その他、近世の上田藩に関する論文

## ○本部・各支部の総会・懇親会スケッチ

- ・長野支部総会・懇親会（七夕会）（7月7日）
- ・関西同窓会総会・懇親会（9月6日）
- ・本部総会・懇親会（9月20日）
- ・中南信支部総会・懇親会（11月15日）

いずれも母校の立派な進学実績の報告に賞賛の拍手。

総会後の懇親会では再会に話しが弾み、和やかなうちにも、意気軒昂な声が飛び交い、笑顔が弾けた。中でも野球班など班活動の活躍を待望する声が大きく、母校の文武両道の発展の願いを込めて校歌、応援歌、凱歌の高らかな斉唱をもって盛会裡に終了。また、年次を超えて会の運営に協力し合う会員の姿に母校や郷里を思う絆の強さが偲ばれた。

### 1. 長野支部総会・懇親会（七夕会）

七夕会が恒例により7月7日に開催された。4月に着任された関校長先生からは着任の挨拶と高校野球の展望（長野大会開催直前の本校について）などの楽しい挨拶があり、懇親会は大いに盛り上がった。

### 2. 関西同窓会総会・懇親会

会員の奥様（染谷 OG）によるピアノ演奏が開幕を飾る。

記念講演は菅谷松本市長（同窓会中南信支部長）。医師として培った「患者の目線に立ち、患者から選ばれる医師に」との理念を市政にも当て嵌め、「選ばれる市職員へ」の意識改革を果たし、「3Kプラン」（健康づくり、危機管理、子育て支援）を着々と進めているお話にみな興味津々。

### 3. 同窓会本部総会・懇親会

総会で上田高校創立110周年記念事業が採択され、特別記念特別事業として母校普通科教室へエアコン設置を行うため、会員への募金活動がスタートすることとなりました。

記念講演は関嶋 梢さん（NHK「元気ですか、日本列島」のキャスター、気象予報士 93期卒）の「天気予報の向こう側」。天気図を読む、番組スタッフの打ち合わせ裏話などの新鮮な話に興味深い面持ちで満場が聞き入った。

母校室内楽班はメンバーの殆どが、入学後始めて本格的に楽器を手にしたにもかかわらず、立派な出来栄えのアトラクションが色を添え、総会を盛り上げた。

### 4. 中南信支部総会・懇親会

伊藤かおる氏（コンサルタント・教育委員会委員他要職多数）による「うつ時代の生きる“大人の生きる力”」と題する記念講演。

「身体、脳を柔軟にタフに保つことが大切で、それは頭と身体を使っての日常の簡易な作業の継続によって可能」との時宜を得たお話。大人の健康維持のヒントが得られた。

## ○関西同窓会・秋の文化交流会（10月26日）

『第256世天台座主大僧正半田孝淳猯下のお話と比叡山延暦寺の三塔巡拝バスめぐり』半田孝淳猯下（34期卒、別所常楽寺住職をされていた）に「傳教大師の発願文」のお話感動。参加者80名（関東からも16名）と大盛会であった。

○寄稿 藤村延魚氏 (54期・・・郷土班OB)

**郷土班の皆さん、最優秀賞受賞おめでとう。**

上田高校ニュース2008年11月を拝見して感激しました。

このニュースの中に「郷土班」が、第9回人文・社会科学コンクールにおいて、最優秀賞を戴いたという、輝かしきニュースが載っておりました。

上田高校郷土班の皆さん、受賞おめでとうございます。

私は1956年、郷土班を卒業いたしました。実に52年前です。今日まで、この班が存続していたことが、驚きでした。私が、当時の「上田松尾高校」の2年のときに、「郷土研究クラブ」という同好クラブが出来、翌年3年の時に研究実績を認められ、僅かですが予算の付く「郷土研究班」に昇格いたしました。

当時3年生は誰もいなくて、2年生が8人、1年生が6人位だったと思います。

現在、東御市本海野白鳥台にお住まいの、白井恒文先生(人文地理)がご指導をして下さいました。今も、白井先生はご健在です。

先生のお家に時々お邪魔して、今も当時を懐かしみ、いろいろお話を承っております。夏休みには、みんなで「渡り鳥旅行」と称して、鈍行で、汽車の中や、小学校、中学校、高等学校の教室に泊めて貰い、1週間ほどの旅行をしました。信州以外の土地を知る、最高の研修旅行でした。

それが、原点で、将来、アメリカ留学(貨物船で)を含めて、海外で仕事をするようになりました。日本の会社で働いたのは2年だけで、あとはズーっと海外の仕事をしておりました。上田高校時代の郷土班で培った、未知の国に興味を抱く習性が、自分の職業を決定した、例だと思えます。

郷土班の皆様、半世紀前の先輩より「おめでとう」のメッセージと、益々のご研鑽を期待するエール贈りたいと思えます。

**弓道班 全国大会出場 おめでとう。**

さすが弓道班。

2008年に、「NHKのそのとき歴史は動いた」真田幸村・信濃衆と言う番組を見ました。その一番最後の場面が、上田高校の校歌と、上田高校の弓道班の練習風景でした。みんな、とってもいい顔をしておりました。

そのあと、前校長先生の藤本光世先生が配信されたニュースだったと思いますが、大雪の朝、自主的に校門のまえの雪かきをしている生徒の写真が載っていて、確か、「上田高校弓道班員」とあったように記憶しております。

素晴らしいことです。自主的に進んで仕事をするような、前向きな姿勢が、全国大会出場、という栄冠を勝ち得たのだと思えます。

ぜひ、全国大会で優勝して頂きたいと思えます。

先ごろの郷土班の最優秀賞受賞といい、弓道班の活躍といい、今年の国立大・公立大合格県下随一の成績は、OBとして誇りを感じます。上田高校の卒業生であることを誇りたく思えます。

これは、ひとえに上田高校の先生方の愛情を注いだ教育の成果だと、先生方にも感謝致します。私達、OB、OGも頑張りますので現役の皆様の大いに意気を吐いて下さい。

校歌にある「試百難」ですね。藤本先生に、お願いして頂戴した「試百難」の色紙は私の宝物で、毎日拝んでおります。うれしいニュースに接して、自分のことのようにうれしく、一筆、書かせていただきました。

## 新年会第1部講師 堀内 泰氏の追加紹介 鷹野芳機（副会長、60期）

真田町出身（60期）

在学時所属クラブ／柔道班（2段）・在学時取得

当時柔道部は強く、連続してインターハイに行ったが、ガラの悪い班の中に有って、堀内は余り目立たなかった。（?）

担任／体育専門 宮坂仁吾先生

入学時423人中13人女子であったが、内7人が居たクラス。

郷土史に関心を持った契機／小学校の校長先生がこの分野に造詣が深く、近隣の石仏、道祖神等由来を共に訪ね歩いたことから。

現在／県内外で年数回講演、ガイド活動の傍らカラオケ、お酒を楽しんでいる。

在郷の、60期同窓会「青春回帰の会」中心メンバー。

長兄守氏（49期）は東大卒後名大教授となり、その後愛知万博開催プロジェクトの中心人物として万博を成功させた。上田高校社会人講座でも講演した、知る人ぞ知る有名人。

## 手記（遺稿）掲載

軽井沢御代田間から上中、上田高校へ汽車通学の同窓生の会、平旦会の柳沢 忠（52期）、柳澤省三（56期）—（それぞれ東京平旦会会長、幹事長）両氏より、会の誕生にかかわったOBの貴重な手記が寄せられましたので掲載いたします。

この会と同様に、通学地域・出身校・班活動などのくくりで、同窓生間を縦横結ぶ会が多数あり、会にまつわる思い出・エピソード・現在の親睦活動状況など興味深い話は尽きないものと思います。

つきましては、会員のみなさまには、そうしたお話を是非お寄せ下さるようお願い申し上げます。より多くの情報発信をなし、互いに刺激しあうことが会の活発化に有効でありましょうし、ひいては、同窓会の魅力向上、活性化にもつながると思いますので。

なお、筆者の土屋さんは平成元年に亡くなられましたので、手記は遺稿にあたります。

.....

### 平旦会誕生の記

土屋 勝（27期）

ぼくが上田中学に入ったのは、大正12年で、その年の3月は大雪であった。

入学式の朝も降りしきる雪で、あたりが暗くなるほどであった。積もった雪は、1メートルはあったろう。その中をぼくは兄と一緒に隣村である御代田の駅へ向かって家を出た。追分から御代田までの道程は4キロあまりだ。早朝だから道路に人通りはない。踏み出しはみたものの、この雪では、到底、予定の時刻までに駅には着けないと判断して、向きをかえ、田圃を突っ切り鉄道線路に出た。

列車が通る限り、線路には大して雪はない筈である。たしかに、あまり雪は積っていなかったが、歩きにくいことは予想外で、すこぶる難渋した。だが、線路づたいに行きさえすれば、迷わず御代田駅へ着くことができる。

ぼくらは汗を流しながら懸命に先を急いだ。突然、背後に鋭い汽笛が鳴りひびいた。夢中で兄とぼくは右と左にとびのいた。その瞬間、黒い鉄の巨体が魔風のように通り過ぎ、ぼくらはよろけた。あとに客車が何輛かシュルシュルとつづいた。アッという間の一瞬であった。その地点がカーブであったことが幸いした。機関手氏はカーブにさしかかったので規則通り汽笛の紐を引っ張っただけなのだ。

この列車にぼくらは乗り込む予定だったのだ。だから、ようやく御代田駅に辿りついて次の列車で上田に到着した時には、もう入学式は終わりに近かった。

当時の追分駅は夏場だけの臨時停車場だったが、ぼくが入学した大正12年の夏からは年間を通じて列車がとまる駅に昇格した。だから、ぼくは一年の二学期から汽車通学はじめたのだ。

この頃の汽車通学は、中学生は列車の前部、女学生は後部に乗ることにきまっていた。

上級生になって帽子を斜めにかぶるようになると、掟を破って後部に乗り込むものが出る。下級生はそれを見て切齒扼腕する。ことほど左様に通学列車の後部は、若き血に燃ゆる若者を惹きつけてやまないのであった。

それやこれやで、自主的に汽車通学生の風紀を守ろうというようなことになり、会結成へと進展したのではなかろうか。

大正14年、ぼくが三年に進級した年に会が誕生した。当時、軽井沢御代田間の汽車通学生は、男女あわせると相当な人数であったが、そのうち上中生は9名だけだった。

さて、そこで会の名称だが、色々な案が出た。しまいには、平凡会などというのが出たが、あんまり平凡だというので決定に至らなかった。何かいい名前はないものかと、辞書をめくっていると、「平旦」という字が目についた。

○平旦＝夜明け 払暁

平旦之氣＝朝起きた時のすがすがしい気持

これだ！ と ぼくは辞書をたたいた。

毎朝、平旦の刻、平旦の気に胸ふくらませながら、われわれは淋しい道を駅へと向うのだ。平旦会—これこそ、うってつけの名前ではないか！—というわけで、平旦会が誕生したのである。そして、平旦会は、その後にできた小諸上田間の同じような会の先鞭をつけたものでもあった。

以上で誕生の記を終わる。閑話が多く恐縮の至り。お許しを乞う。

※ 筆者略歴 生年月日 明治43年11月1日  
本 籍 長野県軽井沢町追分602 (追分本陣の出身)  
大阪高等医専(大阪医大)卒 内科医

### 関東同窓会第48回総会・懇親会の開催日決定

平成21年6月27日(土)に如水会館で開催されます。

実行委員当番は62期、67期、72期、77期、82期の皆さんです。

## ○関東同窓会のホームページで情報発信、情報交換を！

石井則男（副幹事長 ホームページ担当 64期）

関東同窓会のホームページ（HP）は2002年11月に開設し、6年が過ぎました。会報「うえだ」では伝えきれない新鮮な情報を都度、掲載したり、同期生の情報交換のページがあります。これまでに発行された会報のうち、現在、第21号（79.06発行）までウェブ閲覧できるようになっており、さらに創刊号までデータ化するために作業を進めています。

また、各期の代表幹事・幹事名、HP開設以来の各種活動概要、定期総会報告、同窓会会則などが掲載されています。写真、PDFファイルを多用し読みやすくなっています。

今後、さらなる情報交換の広場としての役割を持たせたいと考えています。

### 2008年1月からの主な掲載内容

#### I、各種イベントの事前案内と結果報告

- ・6月28日の第47回定期総会案内、概要報告
- ・1月、4月、9月の拡大幹事会の案内と概要報告
- ・第10回ゴルフコンペ4月8日、第11回11月20日ゴルフコンペの案内と結果報告

#### II、新聞紙面紹介

- ・読売新聞2月14日付、「長野県の進学率アップ 道半ば」上田高校の取り組みが紹介された記事
- ・「宇宙人はきつといる」と語る平林久さん（60期）の「届け宇宙人への“電子メール”」と題した日経新聞5月12日付の特集記事
- ・日経新聞6月25日付、「七夕の習俗 地方色豊か」石沢誠司さん（60期）
- ・母校の3年生が松尾祭のアンデパンダン展で不要な紙を生かした油彩画を模した作品を作成し、シカゴ美術館に展示された。信毎の記事（8月）と展示会場の写真（10月）

#### III、同好会、同期会

- ・理科系クラブのOB会報告（8月）
- ・56期、卒業50周年記念事業で母校にプリンター寄贈（2月）
- ・58期のページ 毎月第2木曜日に同期会を行い、HPの内容も豊富、更新も頻繁
- ・64期のページ 同期会の動画も。同期生が東ティモールの全権大使で赴任
- ・65期のページ 2007年7月に開設、1年間でアクセス5千を突破

China report は秀逸

#### IV、その他

- ・上海師範大学の日本語教師をしている石沢誠司さん（60期）の上海だよりを連載
- ・藤本光世前校長訪問記（10月）
- ・関西同窓会総会報告（9月）
- ・関西同窓会 比叡山延暦寺の三塔巡拝、関東同窓会からも16人参加（10月）
- ・母校のHPはおもしろい（11月）
- ・同窓生のHPリンク集

☆関東同窓会のHPは <http://www.h5.dion.ne.jp/~uedakant/> でご覧いただけます。

今後会員の皆さんへメールで情報発信したいと思いますので、メールアドレスをご連絡下さい。メールアドレスは個人情報保護法の立場で管理致します。

新年会出欠返信用はがきにメールアドレスをご記入下さい。